

中小企業タイムズ

山梨県中小企業団体中央会機関誌
平成22年度中小企業組合活性化情報

2月号

2011年
第651/226号
(毎月1日発行)

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可

1月の出来事

●時 事

- 16日 甲府で初雪
- 20日 2010中国GDP世界2位
- 22日 宮崎県で鳥インフルエンザ
「タイガーマスク」からの贈り物、
山梨にも

●山梨県中央会ニュース

- 12日 第8回正副会長会議
- 12日 2011(第14回)中小企業団体新春
交流会
- 27日 小企業者組織化特別講習会

2月の予定

- 23日 中小企業情報連絡員会議

今月の見どころ

- 3面 12月報告、県内景況は…?
- 4面 組合活動紹介
- 5面 ただいま研究中
- 8面 中小企業組合まつり開催予告

その他、各種事業案内、施策等々情報を掲載

発行所 山梨県中小企業団体中央会
甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階
TEL 055(237)3215 FAX 055(237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp
e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

2011中小企業団体新春交流会を開催



テーマは「不撓不屈」

本会では、1月12日、アピオ甲府において、新春交流会を開催した。14回目となる今年は、中小企業組合関係者を中心に、約600人の参加者が相互の交流と懇親を図った。

式典は、国歌「君が代」斉唱で始まり、勝俣明美副会長が開式のことばを述べた後、内藤悦次会長が、「本県は、リニア中央新幹線の開業並びに中部横断自動車道の開通への具体化、また、燃料電池・太陽光発電等のクリーンエネルギーに係わる新産業の創出など、

将来への明るい展望が開けており、県においても「産業振興ビジョン」を検討中である。

しかし、日本経済は、依然厳しい低成長の中にあり、とりわけ中小企業にと

っては、先行きが不透明な状況にある。

そこで、本会の今年の活動テーマを、どんな困難にあっても決して心がくじけない精神を、組合の原点である共同の力に結集し、立ち向かって行く「不撓不屈」とした。交流会の参加者と共に「不撓不屈」の精神を持って故郷山梨の地域経済を切り開いていこう。」と訴えると共に、「昨年6月には、「中小企業憲章」が閣議決定された。その基本原則の冒頭において「経済活力の源泉である中小企業が、その力を思う存分発揮できるように、中小企業組合、業種間連携などの取組を支援する。」と謳っている。今後とも、中央会は、中小企業の連携組織を通じた企業の発展を支援すると共に、本年は特に、農工商連携や海外展開事業などの支援を行う。」と、主催者あいさつを述べた。

引き続き来賓として、山梨県知事横内正明氏から「業界、企業の

経営革新を積極的に支援し、新しい飛躍の年としたい。」と祝辞をいただいた。

続いて、山梨県議会農政商工観光委員長渡辺英機氏、甲府市長宮島雅展氏、日本銀行甲府支店長松本順丈氏から祝辞をいただいた。

その後、来賓紹介、祝電披露がされ、武田與光副会長の閉式のことばで式典は終了した。

式典に続き料理を囲んでの交流会が、松葉惇副会長のあいさつで開会し、甲府商工会議所会頭上原勇七氏の乾杯で、賑やかに開始された。途中、衆議院議員坂口岳洋氏が駆け付け、祝辞をいただく中で、組合関係者相互の連携と、関係機関との交流・懇親が行われた。



新たな年に向けての熱意を見せる中で、和やかに交流会は進み、商工組合中央金庫甲府支店長阿部学氏の万歳三唱、矢澤雄兒副会長の閉会のことばで、2時間余りの新春交流会を閉じた。

雇用調整助成金・ 中小企業緊急雇用安定助成金 を申請される事業主の方へ

平成22年12月からの支給要件緩和 円高の影響を踏まえ、3年前(リーマンショック前)の生産量との比較を可能にしました!

平成22年12月から1年間に限り、以下の全てに該当する場合についても、雇用調整助成金・中小企業緊急雇用安定助成金の対象とします。

- 円高の影響により生産量等の回復が遅れていること
- 最近3カ月の生産量等が**3年前**の同時期に比べ**15%以上減少**
- 直近の決算等の経常損益が赤字

※生産量等とは、売上高または生産量など事業活動を示す指標をいいます。

この取り扱いは、以下の期間に限りです。

大企業：対象期間の初日が▶平成22年12月14日から平成23年12月13日

中小企業：対象期間の初日が▶平成22年12月2日から平成23年12月1日

| | | |
|-----------------------|--------------------------------------|---|
| 通常の要件 | 直前3カ月の生産量等と比較して 前年同期3カ月の生産量等と比較して | 5%以上減(中小企業については直近の決算等の 経常損益が赤字であれば、5%未満の減少でも可) |
| 平成22年12月に 終了する要件緩和 | 前々年同期の3カ月の生産量等と比較して | ・10%以上減 ・直近の決算等の経常損益が赤字 |
| 今回の要件緩和 | 3年前同期の3カ月の生産量等と比較して | ・円高の影響 ・15%以上減 ・直近の決算等の経常損益が赤字 |

「円高の影響」とは?

- ・円高の影響による輸出量の減少、輸出関係の受注の減少
 - ・円高の影響により取引先が海外への発注に移行したことや、経費削減したことによる受注の減少
 - ・円高の影響による外国人観光客の減少
- などを想定しています。

具体的には、雇用調整助成金・中小企業緊急雇用安定助成金の計画届の提出の際に、「雇用調整実施事業所の事業活動の状況に関する申出書(円高の影響用)」で、円高の影響について申し出てください。その際、円高の影響を確認するための書類の提出をお願いすることもありますので、ご了承ください。

なお、「円高の影響による内需の冷え込みのため生産量が減少」など、円高の影響が明確に説明できないものについては対象になりませんのでご注意ください。

★詳細については、最寄りの労働局またはハローワークへお問い合わせください★ 厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク（公共職業安定所）

最低賃金の改定について

●山梨県最低賃金(H22.10.17~)

山梨県最低賃金
1時間 **689円**

●産業別最低賃金

| 産業別最低賃金 | 1時間 | 効力発生日 |
|---------------------------------------|------|-----------|
| 電子部品・デバイス・電子回路、 電気機械器具、情報通信機械器具製造業 | 789円 | H22.12.24 |
| 自動車・同附属品製造業 | 798円 | H23.1.5 |

※ 次の手当等は最低賃金に算入しません。

- ①精働手当、通勤手当、家族手当 ②時間外・休日・深夜手当
- ③臨時に支払われる賃金 ④1ヵ月を超える期間ごとに支払われる賃金

お問い合わせ先 山梨労働局賃金室 甲府市丸の内1-1-11 TEL 055-225-2854 甲府労働基準監督署 甲府市下飯田2-5-51 TEL 055-224-5616
都留労働基準監督署 都留市四日市場23-2 TEL 0554-43-2195 鯉沢労働基準監督署 南巨摩郡富士川町鯉沢655-50 TEL 0556-22-3181

いらないものを捨てること



皆さんは、いらないものを捨てているでしょうか。年末の大掃除、毎年いらないものを捨てるか。思ってもなかなか捨てられない。いつかは着ようと思っても1年以上着ていない服、興味があり買ったのに何年も読んでいない単行本や雑誌、使おうと思って買ったのに1回も使わない家電製品など、捨てても問題ないものが、結構ある。

でも、もったいなくて捨てられない。毎年毎年家にはいらないものが増えていくことになる。昔からものを大切にすることが、日本人にとって美徳であった。そのため、ものが豊富な今でも幅をきかせており、ものが捨てられない。

あるテレビ番組で、出演者が1年間1回も着てない服があれば、捨てた方がいいと言っていた。服は着るために存在し、着ることを前提として買う。

1年もたっているのにまだ一度も着ていないというのは、必要がないから着なかったのであり、つまり「いらない」ということ。

いらないものを捨てるというのが、本来の掃除ということ。

いらないものを捨てるというのは、単にゴミを排出するだけの話ではない。

お金を節約するという意味においても、無視できないほどの大きな効果があり、余分なお金が出て行くことを防ぐことができる。

掃除よりも整理整頓よりも大切なことは、まずは捨てること。捨ててしまえば、掃除も整理整頓も必要ない。お金も時間も節約できる。

ものを捨てるという行為は「もったいない」と思い、罪悪感を感じる。

もちろんものを捨てるのはもったいない事だが、捨てると同じくらいもったいないのは、「使わないで置いておく」「こじこじではないか」と思いつ。目的もなく、なんとなく置いておくというのが一番もったいないのではないか。

果たして、今年はいらないものを捨てることができるでしょうか。

山梨県中小企業団体中央会 情報連絡員報告

(平成22年12月分)

本県の12月の景況は、全業種のDI値が、売上高-26(前年同月比+24)、収益状況-30(前年同月比+22)、景況感-34(前年同月比+28)となっており、業種別のDI値では製造業で、売上高-20(前年同月比+30)、収益状況は-35(前年同月比+20)、景況感は-30(前年同月比+35)。非製造業で、売上高-30(前年同月比+20)、収益状況-27(前年同月比+23)、景況感-37(前年同月比+23)となっている。

製造業、非製造業の前年同月比においては全項目で改善が見られたが、前月比では製造業における収益状況が不変であった以外、すべての項目でDI値は悪化した。国内の状況は、円高の影響に加え、エコカー補助金制度などの終了を受けて、政府の政策効果が徐々に薄らぎ、駆け込み需要から一転、落込みも見えている。今後も引き続き、駆け込み需要の反動が、景気への程度の影響を及ぼすのか懸念される。

情報連絡員による県内の12月の業況報告を見ると、製造業では、依然として受注・仕事量の減少などに歯止めがかからず、先行きを懸念する業界が多い中で、エコポイントなどの影響で受注を確保している業種もあるが、現状の政策効果が切れた後の反動を不安視する声もある。また、非製造業でも一部で季節的な要因も含め、好調となった業種が見受けられるものの、これまで順調だった業種では、やはりエコポイント終了に伴う、駆け込み需要の終息によって影響を受けている。そして、小売業では、一般消費の停滞が著しいこの不況下において、今春オープンする県内の大型ショッピングセンターの影響による、一層の競争激化を懸念する報告があったことも特徴的であった。

県内の中小企業の多くは、依然として先行きの全く見えない状況下で、不安を募らせている。



業界の動き

データから見た

データから見た

トピックス

今回は、行政刷新会議にて検討中の「競り下げ方式※」の導入をどのように考えているか、各業界の意見を聞いたところ、意見が厳しい。

反対する主な理由及び意見については次のとおり。

※公共事業における建設資材や備品、消耗品の調達をインターネットのオークション形式で行おうという新たな入札制度。

【製造業】
中小企業の利益にはつながらない・企業負担になる・大企業と中小企業間の格差が一段と大きくなる・新たなデフレの原因となる。

地方とか中小企業のおかれている状況を理解して、このようなことを検討しているのか疑問。むしろ遅々として進まない行政改革の断行を検討すべき。

経済は、常に上昇発展させ、国益をもたらすことが根幹であり「競り下げ方式」には反対。いかにやる気を持たせ国益をもたらすかを考えるべき。また、過去においても、値下げ競争によって、ものづくり企業を弱体化させ失敗したケースがあった。

すべてにおいて安いものが正義ではない。付加価値を正当に評価し、適正価格を維持することが官公庁はじめ公的機関の役目ではないか。

【非製造業】

人件費率が高く、入札額によっては「最低賃金」を下回る可能性があり、矛盾が生じる。過度な値引き競争はデフレを助長し、景気を後退させる。実施する分野を検討すべき。

低価格競争を懸念。納税者としての国民の立場では反対しないが、国や県の公共事業における試算が正しいかは問われる。モノの価格と労働の価格は別々に考えるべき。

採算を無視した単価での契約をさせられることも考えられる。中小零細企業の切捨てに動いていくと懸念。

断固反対。資本力のある大手会社の独断場となり、一部の企業のみが勝つだけである。適正な工賃の確保が難しくなる。

1円落札のように、中小企業では到底太刀打ちできない状況が生じ、体力のある大手企業しか生き残れないこととなる。

業界から一言

製造業

●食料品(ワイン)／原料のブドウがベト病等により20〜50%の被害を受けたため多くのメーカーで30%くらい仕込み量が減少。ワインの品質は良好。

●繊維・同製品(織物)／暖冬のためマフラー、スカーフ等の店頭での動きが悪い。原材料、燃料が上昇し始め、コスト高・製品価格安の現象が出てくる予想。

●木材・木製品製造／エコポイントの影響もあり、住宅の受注はあるが、今後今の反動が不安。窯業・土石(砂利)／河川工事の発注量が前年より少ない。1月中旬より徐々に出荷量が増加していく見込み。道路工事、建設工事、庁舎の建替工事等目白押しだが、骨材を使用するのは大半が4月以降。

●一般機器／ものづくりは中国を始め新興国へ進出。海外生産へと移行し、仕事量の減少に歯止めが立たず。受注合戦となり、値下げ、短納期、品質の厳選など下請製造業を取り巻く環境は更に悪化の方向。

●その他(貴金属)／12月まではクリスマス需要があり、得意先からの受注もますます多かったが、1月の受注は芳しくなく先行きに不安。

非製造業

●卸売(紙製品)／景気低迷が響き、古紙発生量が平均10%ダウン。古紙の国内販売ではメーカーの在庫が増え、操業短縮が今月より始まり在庫調整に入っている。

●小売(C)／食料品を中心に退店したため大きく売上は減少。全体的に衣料、宝飾を中心とした売上不振が目立った。

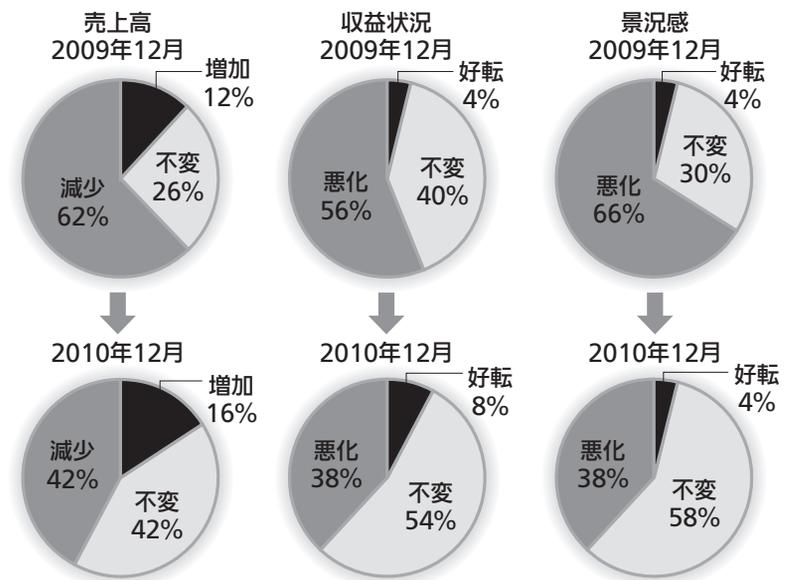
●小売(食肉)／猛暑の影響等で、畜産物全体に高値が続いている。

●小売(水産物)／この2ヶ月は売上の下げ止まり感がある。

●小売(電機機器)／エコポイントの駆け込み需要も終了し、年末の売上は通常月ペースで推移。オール電化の対象商品に対する補助金も減額された。店頭においてエコポイントの手続きの代行業務に時間をとられた。

●小売(事務機文具)／値引競争で、売っても利益につながらない。ネットなどの情報を基に買手主導で売値が決まっている。小売(石油)／中東原油が80ドル

データから見た業界の動き(平成22年12月分)



らの全面高、元売各社の仕切も全油種とも値上げとなり、3円程度の値上げとなった。今後は、中東のドバイ原油の大幅上昇で、全油種とも3円程度の値上げを予想。

●商店街／急な寒さで、衣料品が好調。忘年会は例年並み。

●宿泊業／現状は安価安定。中国人観光客数も落ち込んでおり、業界も一層の観光客の掘り起こしをする必要がある。

●美容業／消費者自らがヘアアレンジや髪を結ぶアレンジが流行している。来客頻度は低下する一方。

●建設業(型枠)／昨年の公共工事の前倒しにより、今後工事量の減少は否めない。更なる工事単価の低下による経営への影響は避けられない。

●設備工事(電気工事)／県の工事発注が集中的に行われ、まずまずの受注状況だが、一般の工事が冷え込んでいる。

●運輸(トラック)／12月は荷動きが多少なりとも好転したようだが、1月以降の見通しは付かない。

●その他(介護)／緩やかではあるが、人材確保が出来てきている。

業界の声

山梨県電機商業組合
理事長 天野一光氏



業界の現況は?

国の施策で、「テレビ・冷蔵庫・エアコン」にエコポイントが付与されています。その中の「テレビ」においては、放送メディアをデジタル化することが世界的な流れとなっています。日本でも、本年7月までに地上テレビ放送のデジタル化への切り替えが進められています。

それに伴い、当業界においてもテレビの売上台数は年々伸びて来ている。また、昨年12月のデジタルテレビ等のエコポイント半減により、年末に向けて駆け込み需要が殺到しました。全国では昨年11月には約52.4万台、12月には約5.5万台と過去最高の出荷台数となりました。

同様に山梨県においても、11月・12月の出荷台数は過去最高となりました。この2ヶ月間での出荷台数は、例年の年間出荷台数とほぼ同数となりました。

その他、「冷蔵庫・エアコン」についても、エコポイント制度や昨夏の猛暑の影響もあり、例年に比べ出荷台数は伸びました。特にエアコンについては、通常は7月頃で受注が一段落するのですが、昨年については9月頃まで受注があり活況を呈しました。

今後の展開は?
本年7月24日正午でアナログ放送は終了し、デジタルに完全移行する予定です。

しかし、山梨県内においては未だ約1割の世帯において切り替えが行われていない状況と見られます。当組合では、テレビ放送のデジタル化への切り替え等に対応するため、『あなたの町の「デジタル110番山梨」』を設置しました。ここでは、地上デジタル放送に関する問い合わせなどに対応しています。

これは、本年7月の地上デジタル放送移行後もこの活動を続けていく予定となっています。また、当業界としてはテレビの買い換えに伴うDVD等の関連製品の販売促進も進めて行きたいと考えています。

その他、近年省エネ・エコ意識が高まっているため、「オール電化・太陽光発電・LED照明」等の販売にも力を入れていきたいと考えています。

家電回りごと相談センター
デジタル110番
全国電機商業組合連合会 加盟登録店
デジタル110番山梨

自動車整備3団体合同 新年懇親会を開催

ACTIVE KUMIAI



年頭の挨拶をする荻原理事長

（社）山梨県自動車整備振興会・山梨県自動車整備商工組合・山梨県自動車整備政治連盟 荻原公明会長・理事長は平成23年1月22日（土）甲府富士屋ホテルで「自動車整備3団体役員等合同新年懇親会」を開き、自動車整備業界の役員ら約170人が出席した。

荻原理事長は、挨拶で「環境低燃費等へ対応した、高度な電子装置を備えた自動車の普及

に対し、新技術整備の習得やユーザーとのコミュニケーション、説明能力等が求められている。自動車整備業界は自動車の安全確保、環境の保全及びコンプライアンスの強化といった社会的使命の達成に努めなければならないが、整備売上高の減少と各事業所の取り巻く環境の厳しさが増す中で、今後、長期使用車の車両整備需要をどのように掘り起こしていくのか、整備事業に対する様々な課題が山積している。その中で、今年12月には自動車整備振興会は創立60周年となり還暦を迎える節目の年でもあり、引き続き業界内部が一致団結し、活性化を目指した組織運営を行って参りたい」と挨拶した。

来賓として出席した、関東運輸局山梨運輸支局川口千晴支局長は「車は大きく様変わりする。電気自動車、燃料電池車の普及は予想より早くなるのではないかと、急速充電器などインフラ整備が重要となってくる。安全安心が必要であり、整備の仕方、技術の習得など重点的に行っていくかなければならない。未来に向かって、自動車整備事業は、大事な役割であることを確信している」と述べた。

また、来賓の中央会内藤悦次会長は「まだまだ日本経済は、依然として厳しく低成長の中にあり、今年の活動テーマに掲げた不撓不屈精神で、荻原理事長を中心に組合の原点である共同の力を結集し、どんな困難にも立ち向かい頑張りましょう」と激励した。懇親会では出席者は情報交換をしながら親交を深めた。



情報交換をして親交を深める

TOPICS

企業組合温泉市場・しんせんやまなし

県内の地域産品にごだわった 品揃えで、山梨をPR

ACTIVE KUMIAI

「企業組合温泉市場・しんせんやまなし」（石川弘理事長）は、山梨市の北西に位置し、正面には富士山、視線を下ろせば甲府盆地が広がる雄大な風景を一望できる海拔700メートルの高台にあり、現在では国内でも絶景を誇る露天風呂として全国的にも知られる「ほったらかし温泉」に隣接している直売所である。



県産各メーカーのワインと酒を取り揃えた販売コーナー

平日、週末を問わず、県内外から多くのお客さんが訪れ、春先にはタラの芽やウド、ほかにもめずらしい多くの山菜、夏には桃、秋には葡萄など、多くの野菜や果物を季節ごとに楽しんでもらえます。

温泉に来る9割近くが県外からのお客さんであるため、組合では「山梨の魅力やこだわり」を発信するアンテナショップとして貢献することに力を入れており、地元限定した農産品や加工品の販売を主とする他の数多い直売所とは異なり、オリジナル商品、山梨県産の各種ワイン・日本酒や、山梨のお土産品、地場産品など、品揃えも山梨県内で作られたものにこだわり、県外からのお客さんに山梨全体をPRすることを重点においている。

また、組合では、高台から望む四季折々の風景や、色とりどりの季節の野菜や果物、特色ある県内の地域産品など、ホームページやブログを通じて、新鮮な情報を全国に発信したいという想いから、昨年よりホームページ制作について取り組みを行っているところである。

内容についての検討も最終段階を迎え、近日中に、公開出来る予定となった。県内外、全国に紹介したい山梨県内の地域産品がありましたら、是非一度、組合へご連絡下さい。

<http://www.shinsen-yamanashi.jp/>



TOPICS

山梨県民信用組合

「げんみん信組」の 社会貢献活動

ACTIVE KUMIAI



花の種の配布

山梨県民信用組合（坂井俊次理事長）は、「しんくみの日（9月3日）」を中心に、年間を通して環境美化・保護に取り組んでいるほか、スポーツ振興、地域行事への参加等、さまざまな分野において地域社会にお役に立てるよう社会貢献事業活動を実施しています。

昨年の取組状況を紹介しますと、8月1日から9月30日の2ヶ月間にわたり献血運動を実施し、役員員174名が参加しました。なお、当組合では献血活動を広くみなさまに知っていただくために、厚生労働省が推進している「献血サポーター」活動に参加しています。

9月1日から7日の「しんくみの日週間」では、環境美化への取り組みとして、甲府駅前において「花の種」の配布を行いました。また、清掃活動は役員員478名が参加し、甲府駅周辺・平和通りの歩道及び歩道橋の一斉清掃と各営業店周辺の公共施設等の清掃を行いました。さらに、9月4日、地域貢献の一環のボランティア活動として「富士山クリーン作戦」に役員員（家族を含む）32名が参加しました。快晴の中、午前11時から午後1時過ぎまで富士山（5・6合目）の清掃活動を行いました。

10月16日には、恒例となった「甲府大好き祭り」のダンスパレードに30名のフレッシュなメンバーが参加したほか、各地域のおまつりなどの行事への参加・協賛、また、各地域においてスポーツ大会を開催するなど、地域のみなさまへの社会貢献事業に努めています。



富士山清掃活動

リフレッシュ・コットン・プロジェクト

山梨県ふとんリサイクル協議会



エコライフ活動アイデア発表会での発表

山梨県ふとんリサイクル協議会(会長:篠原充)は、一般家庭から排出される粗大ごみの中で最も多く排出され、その大半を焼却によって処分している「ふとん」のリサイクルにより二酸化炭素排出量の削減に貢献するという趣旨のもと、一般社団法人山梨県一般廃棄物協会、山梨県わた寝具商工組合、山梨県地球温暖化防止活動推進センターの3団体で平成21年8月に設立され、活動を行っている。

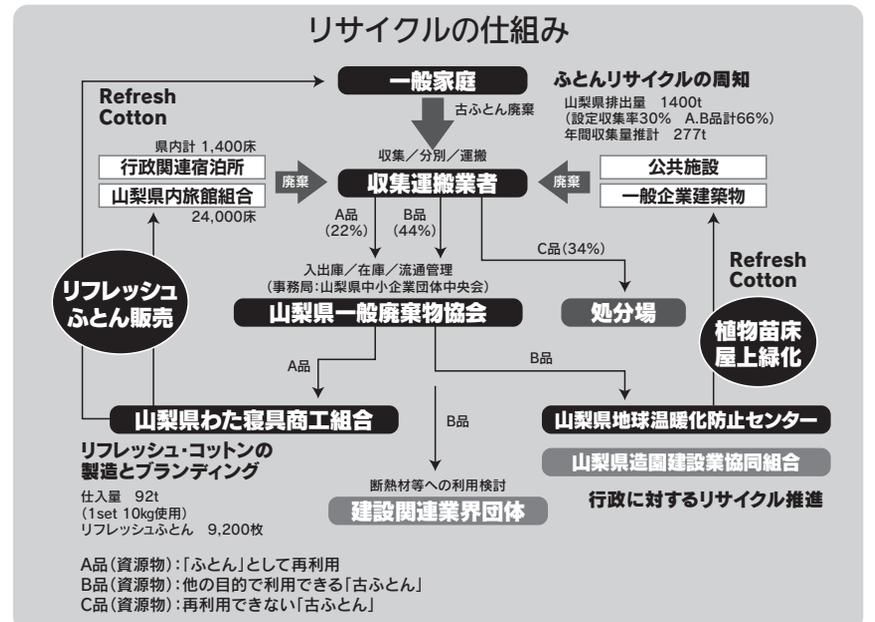
去る12月16日には、山梨県立文学館講堂において開催された「エコライフ活動アイデア発表会」に参加した。同発表会は、山梨県のエコ活動、エコアイデアを紹介するという目的で平成22年度山梨県地域活性化促進事業の一環で行われ、県内から9団体が参加し、それぞれ特色ある活動の発表を行った。

ふとんリサイクル協議会からは、事務局である中央会知見寺連携支援部長が

出席し、廃棄されるふとんのリサイクルシステムの構築に向けた取り組み「リフレッシュ・コットン・プロジェクト」を発表した。同プロジェクトでは、これまで廃棄ふとんの排出量や消費者意識の調査、廃棄ふとんに含まれる綿など各種資源の品質や再利用方法の研究を行ってきており、現在販路開拓やイメージアップなどの研究を行っている。

なお、前述の発表会は、全国フォーラムの山梨県予選を兼ねており、山梨県地中熱利用推進協議会の「地中熱ヒートポンプシステム」の取り組みが選ばれた。

ふとんリサイクル協議会では、今後も関連他団体や自治体、県民一体となつての活動を目指して、リサイクルシステムづくりを推進していく。



情報BOX

景気対応緊急保証制度

国際的な金融不安等を契機とした現下の厳しい経済状況において、例外業種を除き原則として全ての業種に属する中小企業の皆様の資金繰りを、本制度でサポートします

制度概要

- 制度名** 景気対応緊急保証制度(全国緊急)
- 対象者** 一部の例外業種(農林水産業、金融業・保険業、公務(公的機関)、学校法人、政治・経済、文化団体、宗教等)を除き、原則として全ての業種を指定業種として対象(※)
- 保証限度額** 2億8千万円(組合4億8千万円)一般の保証枠と別枠
既存セーフティネット保証の残高を含む
- 保証割合** 100%(全部保証)
- 保証期間** 10年(据置期間2年以内を含む)
- 返済方法** 原則として均等分割返済
- 担保** 必要に応じて徴求する
- 保証人** 法人代表者を除き、原則不要
- 貸付利率** 金融機関所定の金利
- 保証料率** 年0.8%(中小企業会計割引適用時0.7%)
- 必要書類** 通常の申込書類のほか、市町村が発行する認定書(5号)

取扱期間 平成22年2月15日より平成23年3月31日まで
※平成23年4月1日以降は、指定業種が大幅に縮小されます。(日本産業分類(中分類)において現在82業種→48業種)

景気対応緊急保証の借換メリット

例えば、1,200万円を5年(60回)で返済するケースでは、月々の元金返済は、20万円です。

事例1
3年経った時に、仮に残高が480万円であれば、480万円を10年(120回)で借換えると、月々の元金返済は4万円となります。

事例2
残高480万円に720万円を上乗せして、1,200万円を10年(120回)で借換えても、月々の元金返済は10万円となります。

(※1)一部借換えできない制度もありますので、信用保証協会に個別にご相談ください。
(※2)金利については考慮しておりません。

お問い合わせ先 山梨県信用保証協会 保証部経営支援室 浅川まで TEL 055-235-9701

朝日の昇らぬ夜はない。

私たちトラックは、どんな難関だって乗り越けていく。さっさと目的地
 まで運ぶ。それが、私たちの使命です。

それは、国内輸送の9割以上を担っているという責任があるから、日本の
 経済と豊かな生活を支えているのだという自負があります。

だから、私たちは常に努力しています。安全に、確実に貨物を届けるた
 めに、「事業用自動車安全プラン2009」など具体的な安全対策やコ
 ンプレックスな取り組みを推進。また、かけがえのない運送員を未来に残す
 ための「ドライバーワークス・アップ運動」や「安全運転の導入促進」なども積
 極的に取り組んでいます。

しかし、世界的な不況による売上の低迷や、燃料の高騰などにも悩まされています。
 経営環境による経営者の負担軽減に加え、経営の効率化も必要です。また、
 値下げ競争など、次々と押し寄せる悪化は中小企業が多数を占めるト
 ラック業界にとって、企業努力の限界を超えるものとなっています。

それでも、私たちが乗り越えられるのは、みんなが頑張れば日本経済は
 立ち直ると信じているから、日本は元気になると信じているからです。
 必ず朝日は昇るから。

がんばれ日本!!

環境に優しいトラックが つなぐ人の輪 未来の輪

(平成21年度環境標語最優秀賞)

(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
 (社)全日本トラック協会
 後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局



明日を、かなえる。

みんなのために、ひとりのために

しんきん
 バンク
 Face to Face
 信用金庫

山梨信用金庫
 (055-235-0311)

甲府信用金庫
 (055-222-0231)

ATM 全国19,900台
 しんきんキャッシュカードなら、全国のしんきんATMで、
 平日・土曜のご利用手数料が無料で、ご利用できます。
 (一部対象外のATMがございます。)

山梨県中小企業団体中央会が推進する 安い掛金で大きな安心

自動車共済

24時間事故受付で、緊急連絡にそなえて万全の
 事故処理体制をとっています。万一の事故のと
 きは、顧問弁護士や専門職員が示談交渉にあたり、
 解決するまで協力します。

関東自動車共済協同組合 山梨県支部

〒400-0035 甲府市飯田 4-4-2 自動車共済ビル
 TEL 055-237-8331 (代)

情報BOX

転業チャレンジ無料相談会を開催します!

「現業と異なる業種に事業を転換する」または「新分野に進出する」こうした取り組みを支援するため、中小企業
 応援センター「支援ネットワークやまなし」では、個別相談会を開催します。相談は無料です。

下記日程により行いますので、ぜひご参加ください。

- 相談希望の方は、下記の各会場機関にご連絡ください。
- 開催時間 各回ともPM1:30~PM4:00

| 日時 | 会場 | 住所 | 問い合わせ・申込先 |
|-------------------|--------------|-------------------------|--------------|
| 平成23年 2月15日(火) | 甲府商工会議所 | 甲府市相生2-2-17 | 055-233-2243 |
| 平成23年 3月16日(水) | 山梨県中小企業団体中央会 | 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館 4F | 055-237-3215 |

- 主催：中小企業応援センター 支援ネットワークやまなし
- 構成機関：(財)やまなし産業支援機構 山梨県商工会連合会 山梨県中小企業団体中央会
 甲府商工会議所 富士吉田商工会議所 (株)山梨中央銀行 都留信用組合

●中小企業応援センターとは

平成22年度から開始された国の事業です。山梨県では、上記7つの機関がコンソーシアムを組織し、3つ
 の支援メニューにより一体となって県内中小企業の皆さまを支援しています。

- ①専門家派遣…中小企業が抱える様々な経営課題解決に最適な専門家を無料で派遣します。
- ②セミナー開催…講習会やビジネスマッチング会を開催し有益な情報提供を行っています。
- ③個別支援…各機関に所属するコーディネーターがさまざまな身近な相談に応じています。

●中小企業応援センター事業への問い合わせ

代表法人 (財)やまなし産業支援機構 TEL055-243-1888

▶東京国税局からのお知らせ

文書回答手続きをご利用ください

文書回答手続きとは

納税者の皆様から、取引等に係る税務上の取扱いに関して文書による回答を求める旨の事前照会があった場合
 に、一定の要件の下に、文書により回答するとともに、他の納税者の皆様の予測可能性の向上に役立てていただく
 ために、その照会内容を公表するという納税者サービスです。

- 回答は、受付日から原則3か月以内の極力早期に行うよう努めています。
- 照会者名等の照会者を特定する情報は原則非公表となります。
- 照会者からの申出があり、相当の理由があれば、回答後の公表を180日以内(原則60日以内)に延期で
 きます。

対象となるものは

照会者が、自ら実際に行った取引等又は将来行う予定の取引等で個別具体的な資料の提出が可能なもの(その
 取引等に係る国税の申告期限(源泉徴収等の場合は納期限)の前に照会されるもの)に限ります。

対象とならないものは

- 仮定の事実関係や複数の選択肢がある事実関係に基づくもの
- 個々の財産の評価や取引等価額の算定・妥当性の判断に関するもの
- 国税の軽減等を主要な目的とするものや通常の経済取引等としては不合理であると認められるもの
- その他、文書回答手続きによる回答が適切でないと認められるもの

照会方法は

税務署等に備え付けてある用紙(国税庁ホームページからもダウンロードできます。)に必要な事項をご記入の上、
 関係書類を添えて、原則として照会者の納税地を所轄する税務署に提出していただくことになります。
 なお、具体的な審査及び回答は、原則として国税局の課税第一部審理課が行います。

※ご注意ください!

- 取引等に係る国税の申告期限等が経過した場合には、回答は行われませんので、審査に要する期間をご考慮の
 上、ご照会ください。
- 事前照会の回答がないことを理由に国税の申告期限等が延長されることはありません。
- 回答内容に不服がある場合や国税の申告期限等までに回答が行われないことなどに対して不服がある場合で
 あっても、不服申立ての対象とはなりません。

詳細については国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)をご覧ください。
 (「税について調べる」→「税の相談」の「事前照会」→「事前照会に対する文書回答手続」→「概要」)

この社会、あなたの税がいきている

編集後記

2011年がスタートして早くも1ヶ月が過ぎましたが、昨年の目標が今年も継続となりました。今年こそは目標をクリアできるように意識的に取り組みたいです。

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp



第16回

中小企業組合まつり開催!!

**入場料
無料**

テーマ **不撓不屈** —ふとうふくつ—

日時 平成23年3月13日(日) 午前9時～

場所 **アイメッセ山梨**(甲府市大津町)

- 内容(予定)
- やまなしB級グルメフェア
 - 体験型イベント盛りだくさん
(女子バスケットボールクラブ
山梨クィーンビーズ参加)
 - やまなしの特産品の販売
 - 来場者プレゼント
 - 県内組合の紹介
 - やまなし産業タイムトンネル写真館
…等

同時開催
第10回

介護健康フェアinこうふ

主催 介護健康フェアinこうふ実行委員会
甲府市介護サービス事業者連絡協議会

●主催・お問い合わせ先 山梨県中小企業団体中央会 TEL.055-237-3215 URL <http://chuokai-yamanashi.or.jp/>

山梨の物産展(東急百貨店吉祥寺店)を開催!

が企業には求められる。これらの努力を重ねることで、商品の認知度がアップし、商品を求めて県内店舗への立ち寄り、ひいては山梨への観光客の誘客にも結びつくものと思われ。



ソーセージの販売コーナー

この事業では、商品の搬入・搬出から商品の販売までのすべての作業は企業が行い、当会は来客が多い店舗を中心に必要に応じて、商品の販売補助を行った。同時に、大型店地下食品売り場の売れ筋商品(商品のトレンド)や商品構成を見聞したり、商品の陳列方法、プロ販売員の接客方法の研究に努めた。

地下食品売場における催事は、食品を購入する目的の買いの固定客中心であり、衝動買いがほとんどないため、売上は、当初の見込みより苦戦した。しかし、単発で考えるのではなく、これを機に定期的に辛抱強く出展することにより、固定客を一人でも多く獲得する努力が企業には求められる。これらの努力を重ねることで、商品の認知度がアップし、商品を求めて県内店舗への立ち寄り、ひいては山梨への観光客の誘客にも結びつくものと思われ。



甲府鳥もつ煮の試食風景

1月13日(木)より19日(水)までの7日間、東京都武蔵野市東急百貨店吉祥寺店地下食品イベントスペースにおいて「山梨の物産展」を開催した。

この物産展は、当会が主催者として出展者を募り、他県のデパートにおける初の開催であった。

山梨を代表するお菓子である「月の雫」、信玄餅、信玄桃」や「ソーセージ、ワインナード、ベークン」などの畜産物、八ヶ岳で育った地鶏製品(八ヶ岳卵及びカステラなどの加工品)を販売した。また、B級グルメとして甲府の名を高めた「鳥もつ煮」も販売し、来場者の興味を引いた。

日本政策金融公庫は
中小企業のみなさまを積極的に応援します!

国の創業ローン・事業資金ローン



新たに事業を始める方へ
新規開業資金!

経営の多角化や事業転換を図る方へ
新事業活動促進資金!

*ご融資に際しての保証人、担保などにつきましては、お客さまのご希望を伺いながらご相談させていただきます。
*長期のご返済で、お利息は固定金利です。

毎月第2、第4火曜日は
「創業相談会」を開催中(予約制)

お問い合わせは

JFC 日本政策金融公庫
甲府支店 国民生活事業 TEL055-224-5366

最寄りの商工会議所・商工会でもご相談を承ります。

合同面接会参加企業募集中

(社)山梨県シルバー人材センターではシニアワークプログラム地域事業を実施し働く意欲のある高齢者の就職、就業支援をしています。

ヘルパー2級課程合同面接会

- 平成23年2月4日(金)
13時30分より
- 山梨県立
青少年センター



*参加企業を募集しています。詳しくは下記までお問合せ下さい。

シニア就業支援プログラム事業

55歳以上で雇用就業・社会参加を希望する高齢者に地域ネットワークと連携して支援します。

シルバー人材センター連合会へ登録



企業・事業主

- ワークショップ(職場体験、ボランティア、シルバー就業体験等)
- 就業支援講座

| 日時 | 会場 | 講座内容 |
|---------------------|------------------|-----------------|
| 2月21日(月) 13時30分～ | ホテル クラウンパレス甲府 | 高齢者の 再就職に向けて |

*詳しくは下記までお問合せ下さい。

(社)山梨県シルバー人材センター連合会

〒400-0355 甲府市飯田3丁目3-28 Tel.055-228-8383